



幡多希望の家 (No. 28)

〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山867
社会福祉法人 土佐希望の家
幡多希望の家医療福祉センター

TEL ◆ (0880)66-2212 FAX ◆ (0880) 66-2215

HP ◆ <https://www.hatakibou.jp/>

Mail ◆ hataki00@ca.pikara.ne.jp

<発行所> 幡多希望の家医療福祉センター

<発行日> 2024年6月20日 <発行責任者> 河原 敏郎



新年度の出立にあたって

幡多希望の家医療福祉センター
センター長・施設長 島田 誠一

4月は、多くの方にとり新生活への出発の月です。そして桜をはじめ、多くの草花が競うように咲き始める胸膨らむ季節です。この希望に満ちた時期、当施設も、職員の皆様と気持ちを新たに、新しい年度をスタートしたいと願います。

さて、近年我が国近辺では大地震が頻発しています。2024年は1月1日の正月早々、能登で震度7の地震が発生し、4月3日には台湾付近で、そして4月17日には宿毛でも大きな地震がありました。幸い、当施設には殆ど被害はありませんでした。しかし軟弱地盤の上に立つ当施設は、南海トラフ地震では大きな被害が想定されており、安全な地への施設の移転改築が喫緊の課題となっています。そして現在、適地の確保や移転改築の実現に向けて鋭意努力しているところです。

能登の被災地では、4月になった今もなお、復旧や復興の目途が立っていません。そして、生活や仕事の基盤が壊され、精神的にも立ち直れていない多くの方がいらっしやいます。桜の季節とはなりましたが、被災された方々には、とても胸膨らむ状況にはないと推測します。

各々の地震は、発生メカニズムやマグニチュードの大きさ、災害のタイプとその程度が異なり、一つとして同じ被害はありません。地震が起こる度に、対応の遅れが指摘されますが、私は、地震への対応は徐々に改善され、多くの人に周知されてきていると考えます。即ち、地震発生前の基本的対応は、「防災グッズの準備」や「家具の転倒防止」、また「数日間の食料備蓄」などです。そして地震の揺れの最中には、自らと周りの人の命を護ることが第一の対応であり、続いて隣近所で助け合うことが第2の対応です。津波の恐れがある時には高い所に逃げるのが第3の対応です。そしてその後の対応で最も重要なものは、想像力をもって臨機応変に動き、安全を確保する能力です。被害が多岐にわたる状況下では、マニュアル通りに動けないことが多々あります。即ちマニュアルは絶対的なものではなく、参考にすべきものであると考えます。

病院や介護施設では、曲がりなりにも災害訓練が毎年実施され、職員は、リーダーの指示に従って動くことに慣れています。地震災害の現場では、早く指示者を決め、その指示に従い協力して動くことが求められます。自衛隊や警察、消防、医療、学校などはそれが明確になっている組織です。その意味で職員の皆様方は、日頃からこの能力が養われており、災害時には自信をもって積極的に行動して欲しいと思います。

今改めて、能登の被災者の方々を思います。強く打ちひしがれた中にあると思いますが、神様は、耐えられない試練を与えないばかりか、逃れる道を備え、また試練を乗り越えて進む力を与えてくれます。試練を乗り越えて進む力、それは「希望」です。たとえそれが小さなものであっても、人は希望を持つことで立ち直ることが出来ます。被災された方々には、神様からの力強い希望が与えられんことを願い、復興への熱い祈りを捧げたいと思います。

成人式(中嶋優愛様)

令和6年1月21日、中嶋優愛様の成人式を当施設にて執り行いました。

令和5年5月に、2類から5類へ感染症分類は変わりましたが、長引くコロナ渦で当施設を含め医療・福祉の現場ではまだまだ予断を許さない状況でした。その中で、何とか成人式を開催出来ないものかと、施設全体で取り組み、マスク着用などの感染対策を行いながら、支援学校の先生など外部の方にもご参加いただき、小規模ながらも優愛様の成人式を開催することが出来ました。

当日は晴天に恵まれて、小椋副理事長のご祝辞や、中平宿毛市長の祝電もいただきながら、アットホームな雰囲気の中、式が進行していきました。

ご家族様よりお預かりした幼少期の写真に加え、当施設での日常生活や行事、四季折々のイベントの様子を交えて動画を作成し、お母様からのリクエスト曲であるMISIAの「アイノカタチ」にのせて映像を流しました。優愛様のこれまでの人生の歩みをあらためて振り返りながら、会場が感慨深いものに包まれました。



至らぬ点は多々ありましたが、皆様のご協力を得て無事に式を執り行えましたことを嬉しく思いますと共に厚くお礼申し上げます。

あらためまして、中嶋優愛様ならびにご家族様、ご成人おめでとうございます!!

(生活支援員：菊池)



新人紹介

①抱負 ②趣味 ③自己紹介



看護部看護科
宇都宮 千穂
(看護師)

- ①焦らず穏やかに丁寧に利用者様と向き合っていきたいです。常に初心を忘れず、1つ1つの仕事に一生懸命取り組みます。
- ②絵や漫画を描く事が好きで、今はイベント参加の為に同人誌を作っています。
- ③新しい職場でまだまだ分からないこともたくさんありますが、早く仕事に慣れてチームの一員として活躍できるようになりたいです。



総務部総務課
福井 陽子
(事務員)

- ①一つ一つの仕事を確実に、また利用者の方々に寄り添った仕事ができるように頑張りたいです。
- ②旅行、映画鑑賞
- ③まだまだ不慣れで日々の仕事をこなすのに精一杯ですが、頑張りますのでよろしく願います。

令和6年度 事業計画

3月の法人理事会及び評議員会で承認されました、令和6年度事業計画の主なポイントをご紹介します。

社会福祉法人 土佐希望の家の理念

社会福祉法人土佐希望の家は、利用者の生命、人間としての尊厳、及び権利を尊重し、良質な医療と豊かな暮らしを提供します。

社会福祉法人 土佐希望の家の令和6年度に向けて

1 ガバナンスの確立

●法人合併3年目は、各部署の適切な運営に向けて、必要な見直しと体制の整備を行うとともに、幡多希望の家職員の給与改善、両センターの人材確保に向けた初任給引き上げ等の給与改定を実現するため、「入所者の確保」「短期入所の積極的な受け入れ」「通所部門の赤字解消(黒字化)」に取り組みます。

※社会福祉法人のガバナンス…①透明・公正な意思決定を行う仕組み ②迅速・果敢な意思決定を行うための仕組み (出典:WAMNET 社会福祉法人の経営ガイド)

2 医師確保

●土佐と幡多の両施設の安定した運営には、それぞれ常勤医師の増員が不可欠と考えられるため、法人全体で医師確保に取り組みます。
●あわせて、労働基準監督署の許可を受けた医師の働き方改革への対応を着実に実施します。

3 幡多希望の家の移転改築

●幡多希望の家は、平成9年の竣工以来26年が経過しており、①施設の老朽化と狭隘化が課題となっていること、②軟弱地盤であり、南海トラフ地震への対策が急務であることなどから、できるだけ早期に移転改築が必要となっています。
引き続き、適地の確保など、移転改築の実現に向けて取り組みます。

4 職員のスキルアップ(研修計画の策定と実施)

●土佐と幡多の両施設共通の職種別・階層別の研修体系を構築し、効果的・効率的な研修に取り組みます。
●また、新たに、両施設の看護師及び生活支援員の役職者が相互に交流する研修を実施します。

5 在宅支援事業のあり方

●特に、幡多希望の家の重症心身障害以外の障害児を対象とした通所事業については、連年赤字の解消が必須であり、現利用者への支援の継続を含め、関係市町村と協議のうえ、見直しを検討します。

6 両施設での共通業務の一元化

●法人合併のスケールメリットを活かして、物品等の発注や入札手続き、請求業務などの共通業務については、順次、法人本部で一元的に実施していきます。
●これらの業務効率化により、経費等の節減に取り組みます。

法人本部の取組

1 健全経営に向けた取り組み(主なもの)

(1) 幡多希望の家の課題への対応(主なもの)

●相談支援部門に、入所者のケースワークや短期入所の受入れ調整などを行う管理職を新たに配置し、利用者や家族のニーズに応じた相談支援の充実を図るとともに、他の相談支援事業所との連携を強化します。

(2) 今後の利用ニーズの把握

●行政等との連携強化を図りながら入所、在宅の利用ニーズを把握し、今後の各事業のあり方について検討します。

(3) 幹部職員の事業活動(法人運営)への参画

●土佐と幡多の両施設の幹部職員が、法人の課題や方向性などを共通認識したうえで、健全経営に向けて積極的に取り組みます。

(4) 適正な事務処理の徹底・内部統制の強化

●法人の諸規程に沿った適正な事務処理の徹底など、組織としてのガバナンスの強化、内部統制の強化を図ります。

(5) 施設整備のための土地確保

●老朽化、狭隘化している土佐希望の家3病棟の改築や県中央部で利用ニーズが増加している児童発達支援事業所の創設などの事業展開に向けて、周辺土地の情報収集に努めます。

2 不適切な行為等の発生の防止とより良いケアの実現

●虐待防止委員会の開催や全職員による虐待防止チェックリストの実施、「いいケアしよう事例集」の活用等、日ごろのOJTを通じて、不適切行為等の発生防止とより良いケアの充実に取り組みます。

●利用者の状況に応じたサービスの提供とリスクマネジメントによる事故防止に取り組みます。

3 新型コロナウイルス感染症などの感染防止対策

●院内感染対策委員会を中心に、利用されるすべての方への感染防止対策を徹底します。

4 防災対策の充実

●BCP(業務継続計画)の見直しと災害時備蓄を推進するとともに、防災研修や防災訓練を充実します。

5 人材の確保と定着

●初任給の大幅アップ、給料表の見直し等により、職員の処遇改善を図り、人材の確保・定着に努めます。

●様々な機会を捉えて、多様な方法により求人を行うとともに、新人研修等の充実に取り組みます。

社会福祉法人 土佐希望の家 資金収支予算書

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日

社会福祉法人 土佐希望の家

(単位:千円)

勘定科目		土佐希望の家	幡多希望の家	法人全体
事業活動による収支	収入			
	児童福祉事業収入	7,694	3,791	11,485
	障害福祉サービス等事業収入	599,493	266,919	866,412
	医療事業収入	1,109,479	416,166	1,525,645
	その他の事業収入	0	326	326
	経常経費補助金収入	0	1,520	1,520
	経常経費寄附金収入	1,168	50	1,218
	受取利息配当金収入	4,572	36	4,608
	その他の収入	4,910	592	5,502
	事業活動収入計	1,727,316	689,400	2,416,716
支出				
人件費支出	1,340,266	554,132	1,894,398	
事業費支出	239,295	83,827	323,122	
事務費支出	125,842	58,259	184,101	
支払利息	157	0	157	
その他の支出 雑支出	0	0	0	
事業活動支出計	1,705,560	696,218	2,401,778	
① 事業活動資金収支差額		21,756	△6,818	14,938
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	185,800	0	185,800
	固定資産売却収入	88,066	0	88,066
	施設設備等収入計	273,866	0	273,866
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	14,500	0	14,500
	固定資産取得支出	312,640	4,700	317,340
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
ファイナンスリース債務	0	886	886	
施設整備等支出計	327,140	5,586	332,726	
② 施設整備等資金収支差額		△53,274	△5,586	△58,860
その他の活動による収支	収入			
	投資有価証券売却収入	0	0	0
	積立資産取崩収入	163,418	3,000	166,418
	退職給付引当試算取崩収入	7,927	3,000	10,927
	人件費積立資産取崩収入	0	0	0
	施設・設備整備積立資産取崩収入	155,491	0	155,491
	その他の活動による収入	0	0	0
	その他の活動収入計	163,418	3,000	166,418
	支出			
	投資有価証券取得支出	0	0	0
	積立資産支出	221,888	3,276	225,164
	退職給付引当資産支出	9,865	3,276	13,141
	人件費積立資産支出	50,000	0	50,000
施設・設備整備等積立資産支出	162,023	0	162,023	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計	221,888	3,276	225,164	
③ その他の活動資金収支差額		△58,469	△276	△58,745
当期資金収支差額合計		△89,988	△12,680	△102,668

【資金収支予算書の説明】

- ① 事業活動による収支は、職員給与の見直しや電気料金等の高騰などにより支出増となりますが、報酬改定による診療報酬等の収入増が見込まれますので、土佐は黒字、幡多は若干の赤字で、法人全体では14,938千円の黒字となる見込みです。
- ② 施設整備等については、令和6年夏ごろに完成予定の土佐の1病棟・2病棟の大規模修繕工事の支出(法人負担額)により、土佐の収支は、△53,274千円となる見込みです。
- ③ その他の活動については、土佐において、将来の人件費の増加等に備えた積立を行うため、土佐の収支は、△58,469千円となる見込みです。